

目標（9）

みんなでまちをきれいにします



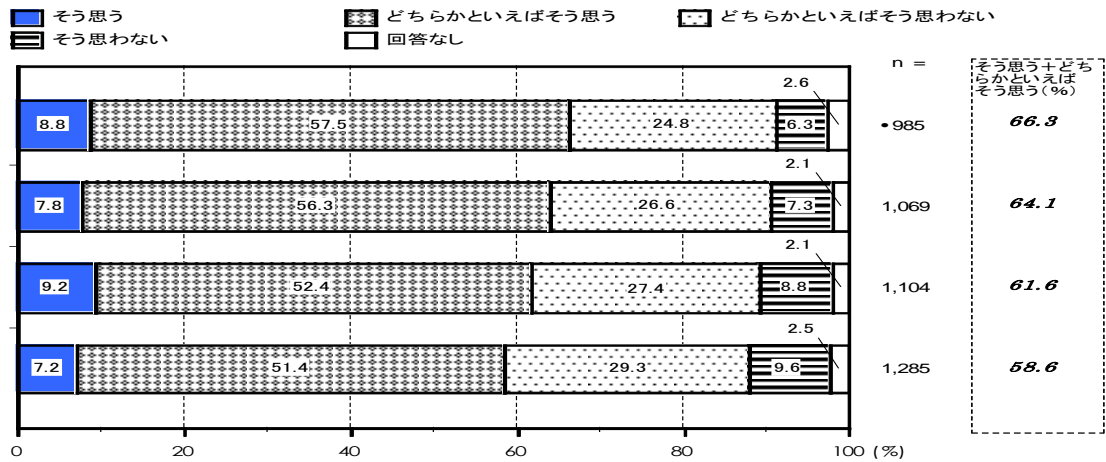
▲分別収集体験

I. 目標と目標の達成状況

| | |
|--------------|---|
| 1. 目指す姿 | |
| 目標達成に向けての考え方 | 人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と力を合わせて環境に配慮した取り組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを、次世代に引き継ぎます。 |
| 目標が達成された姿 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 地球環境に対する意識が高まっています。 ◇ 資源化が進み、ごみの量が減っています。 ◇ ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。 ◇ 環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。 |

2. 市民意識調査結果

【設問】 みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う



3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

| | | |
|-------------------------------------|---------------------|---------------|
| 1) 日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしている人の割合 | 2) 1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 | 3) 環境美化推進員の人数 |
| | | |

4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆「指標」結果から、目標の「みんなでまちをきれいにします。」は着実に進んでいるが、1人1日あたりのごみ排出量の達成は困難な状況である。
- ◆「指標1」は計画策定時より増加している。ホームページで環境省の「みんなで節電アクション」、「家電の節電対策メニュー」を紹介したことによるものと捉えており、継続的な情報提供が必要である。
- ◆「指標2」は、平成23年度に発行した「高浜市ごみ分別便利帳」により一定の効果があったものと考え、分別便利帳の改定など、さらなる資源回収のPR強化が必要である。
- ◆「指標3」は目標値に比べ増加しており、事業者の登録が主な増加要因である。目標達成のためには事業者の地域貢献意識の高まりから事業者へのPR強化が必要である。

II. 目標達成のための主な取組み

| こんなことに取り組みます！ | 何を・どうした | いつ |
|--|--|------------------|
| ★「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進します。 ☆地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境美化活動、環境保全活動を積極的に進めます。 | ①市内小学校での環境学習を実施した。 | H23.4 ～H26.3 |
| | ②高浜エコハウスで、小学生を対象とした環境学習（分別大相撲）を実施した。 | H23.4 ～H26.3 |
| | ③環境美化推進員登録を呼びかけ、活動を支援した。 | H23.4 ～H26.3 |
| ★環境に配慮した街灯・防犯灯・公園灯を設置します。 | ①まちづくり協議会や町内会と、防犯灯の設置位置等について協議した。 | H23.6 ～H24.8 |
| | ②市内にある約2,000灯の既存防犯灯を20ワット蛍光灯から10ワットLED灯に切り替え、新規の防犯灯はLED灯で設置した。 | H23.12 ～H26.3 |
| ☆「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみの減量化に取り組みます。 | ①市民会議 環境・憩いの場分科会と協働で、高浜市ごみ分別便利帳を編集・発行した。 | H23.12 |
| | ②「高浜市 新ごみ処理基本計画」を策定した。 | H25.4 ～H26.3 |

III. 課題と今後の取組みの方向性

| 課題 | 今後の取組みの方向性 |
|--|---|
| ①目標が達成された姿「地球環境に対する意識が高まっています。」について ・地球環境問題について、各世代が学べる環境づくりが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 愛知県が平成25年6月に策定した「環境基本計画」に準じた環境学習を実施する。 ◇ 愛知県が実施する「Stop温暖化教室」を小中学校と連携して実施する。 |
| ②目標が達成された姿「資源化が進み、ごみの量が減っています。」について ・「ごみの減量（リデュース）」と、「再利用（リユース）」のさらなる取組みが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 資源化を推進するため、小売店での回収、分別収集特別拠点の増設など資源回収の機会を増加させる。 ◇ リサイクル率向上に効果のある集団回収について調査し、そのあり方を見直す。 ◇ 高浜エコハウスで実施している「分別大相撲」を小学校で開催し、子どもから大人へ啓発できる仕組みづくりを行う。 |
| ③目標が達成された姿「ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。」について ・不法投棄現場の監視体制の検討、環境学習を実施し、子どもたちの力を借りた対策の検討が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ ごみの散乱がひどい、ごみステーションなどの現場について、定期巡回、スポットライト設置など、地域と連携して試行的対策を実施し、効果のあるものについて広く展開する。 ◇ 不法投棄情報を公開する仕組み、不法投棄防止に効果のある防犯カメラの設置を検討する。 ◇ 各学校が行っている学校周辺の清掃活動を広く周知し、不法投棄の抑制を図る。 |

IV. 第6次高浜市総合計画推進会議 コメント